

# 第16回通常総会開催 港湾保安機構 鬼頭氏が新会長に就任

特定非営利活動法人  
港湾保安対策機構は7月  
23日、第16回通常総会を  
開催した。第17期の活動  
報告と決算、並びに18期



挨拶する鬼頭会長

活動計画、予算について  
原案通り了承された。ま  
た今期は理事の改選期に  
あたり大村哲夫会長が退  
任し、鬼頭平三氏(みな  
と総合研究財団顧問)が  
新会長に就任した。総会  
後の懇親会では、来賓と  
して高田港湾局長、杉中  
港湾局海岸・防災課長ら



高田港湾局長

が祝辞を述べた。  
懇親会の場で山根隆行  
理事長は、「我が国港湾  
では対応の不備による重  
大な事案は発生していな  
いが、クルーズ観光の拡  
大に伴う海外からの入国  
者の急増、ドローンによ  
る空中からの制限区域侵  
犯の恐れなど、保安の現  
場では気の抜けない日々  
が続いている。こうした  
中、港湾局はSOLAS  
法の原点に立ち返って、

抜き打ちによる立ち入り  
調査の実施など対応強化  
を行っていただいている。  
当機構においても、  
日本港湾協会と共同で毎  
年実施している港湾施設  
保安職員講習の重要性が  
益々高まっていると思  
いを新たにしている。港  
湾保安対策の取組を今後  
とも強化していく」と挨拶  
した。

新会長に就任した鬼頭  
会長は「先ほどの総会に  
おいて、当保  
安機構ではカ  
メラシステム  
に係るソフト  
ウェアのリー  
スなど新しい  
取組みも積極  
的に進めてい

るとの話を伺った。また  
今後は東京オリンピック  
ク・パリンピック開催  
に向け、港湾地帯での保  
安に万全を期すことが求  
められている。港湾局の  
ご指導も頂きながら、し  
っかりと役割を果たして  
参りたい」と挨拶した。

来賓の高田港湾局長  
は、「保安機構について  
は危機管理室長の時に携  
わらせていただいた。当  
時、効率性の高い物流シ  
ステムの構築が狙いにな  
っていたが、近年益々そ  
の重要性が高まってい  
る。鬼頭会長をはじめと  
する保安機構のご指導も  
賜りながら今後とも力を  
入れて取組んで参る所存  
であり、引き続きお支え

ていただきたい」と挨拶  
した。  
また杉中課長は「港湾  
保安業務がスタートした  
2001年当時、計画課  
企画室に在籍し、その検  
討に携わった経緯があ  
る。爾来、当機構の取組  
もあって各地方整備局に  
おける港湾の保安対策も  
随分進んだことを実感し  
ている。機構ではこれまで  
延べ50回の研修会を開  
催し約5000人が受  
講するなど、人材育成に  
も力を入れている。こう  
した地道な取組の積み重  
ねが今日の保安面での安  
全・安心につながってい  
る」と保安機構の役割  
の重要性と取組を激励し  
た。